

機関番号：32670

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2010

課題番号：20320035

研究課題名（和文） 染め型紙のジャポニスムへの影響に関する研究

研究課題名（英文） Japonisme Studies : The Influence of katagami on the Western Art and Design

研究代表者

馬淵 明子 (MABUCHI AKIKO)

日本女子大学・人間社会学部・教授

研究者番号：30114656

研究成果の概要（和文）：3年間の調査と研究によって、まず日本と西欧各国における染め型紙の所在をかなりの数リストアップすることができた。そのうえで西欧のそれぞれの地域の芸術や産業において、それらがどのようにデザインとして利用されたのかの諸例を抽出した。その結果、各地の産業の種類に応じて型紙は自在に応用され、その分野はきわめて多様であることがわかった。ジャポニスム、とくにデザインへの影響源の一つとして型紙の重要性を確認するにいった。

研究成果の概要（英文）：Thorough three years' researches and studies, we could list up a large number of the katagami collections and their quantities both in Japan and in Western countries. Based on the list, we found in each area of Europe and America, many katagami-style works and the designers who must have used katagami as model. In consequence, we know that the katagami were freely used as design model and the products were various according to the type of material and industry. So we conclude that the katagami was one of the most important sources of Japonisme, mainly in the field of design.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	4,900,000	1,470,000	6,370,000
2009年度	6,000,000	1,800,000	7,800,000
2010年度	3,500,000	1,050,000	4,550,000
年度			
年度			
総計	14,400,000	4,320,000	18,720,000

研究分野：美術史

科研費の分科・細目：芸術学・芸術学 芸術史 芸術一般

キーワード：染め型紙、ジャポニスム、デザイン

1. 研究開始当初の背景

ジャポニスム研究において、浮世絵や工芸品が源泉となっていたことは言及されていたが、染め型紙の影響を指摘した例は、極めて

少なかった。しかし西欧諸国の装飾工芸美術館や工房でそれらが大量に所蔵され、活用された、という情報に基づき、調査が必要な状況にあった。型紙の所蔵の幾つかは報告されていたが、欧米各地にわたっての所蔵調査は

なく、したがってその影響に関しても、具体的な指摘はほとんどない状態であった。辛うじて、研究代表者馬淵と、研究分担者高木、連携研究者長崎の3名が2006年10月から2007年1月にかけて国際交流基金の主催でパリ日本文化会館において監修者として行った展覧会「Katagami - Pochoir japonais et le japonisme」がその先鞭をつけたが、まだ調査研究の余地が多く残されていた。

2. 研究の目的

(1)日本国内および西欧各地にある型紙のコレクションを調査し、データベースを作成すること。

(2)それに基づいてどんな型紙がいつどこにはいったかを知ること、とりわけ西欧地域での影響を具体的な作品を通して把握すること。

(3)そして最終的に染め型紙のどのような特質がこの影響を生み出す要因になったのか、を明らかにすることが目的であった。

3. 研究の方法

(1)まず、知られている型紙を所蔵する美術館・博物館で、文献資料や来歴などから歴史的な事実を突き止める。次いで実際に型紙の調査として、型紙を撮影し、墨書や商印などを記録する。これらの情報からどの時代のどのような目的のために作られたものであるか、を推定する。

(2)次いでその所蔵館の周辺で活動した美術家やデザイナーたちの作品から、型紙の要素が見られる作品・製品を探して、その影響関係を推定する。

(3)さらに出版されたデザインの本で型紙がどのように紹介されたかを調べ、それらも源泉の一要素として検討の対象とする。

(4)批評家や美術家の言説などから、型紙のどのような点が新しいデザインとして評価されたかを調べ、それを一般のジャポニスムに関する言説と比較して読み解く。

4. 研究成果

(1)国外では合計で約50か所の型紙コレクションを調査できた。そのうち、半数ほどは撮影や調書を取ったの調査が可能であったが、残りは1万点を越えるなど、調査が不可能であった場所もあった。

(2)その結果、多くの地域で美術家やデザイナーが直接に型紙をデザインの源として参照したと思われる事例を見つけた。また、型紙が美術品としてコレクターの美的な好みによって精選されて集められた例もあることがわかった。

(3)型紙そのものの研究としては、墨書の年記によって、かつては曖昧であった法量の変遷や墨書のタイプの分析を行った。

(4)また、ナンシー、ミュルーズ、ロンドン、ドレスデン、チェコ、ハンガリーなどにおける型紙の収集の方針や、応用の実際などを詳細に研究成果として報告した。

(5)このような研究を通して、型紙が西欧世界においてとりわけデザインの分野で、ジャポニスムのイメージの源泉として、極めて重要な役割を果たしたことが判明した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計6件)

①高木陽子 シルヴァー・スタジオのジャポニスム：日本趣味、パターン、技術、文化
女子大学紀要 服装学・造形学研究、査読無、第42集、2011、pp.51-60

②長崎巖 染型紙の編年に関する試論(その1)、共立女子大学家政学部紀要、査読無。
第57号、2011、pp.41-63

③高木陽子、染型紙とジャポニスム—技術、
図像パターン伝播の諸相、比較日本学教育
研究センター研究年報、査読無、第6号、
2010、pp.87 - 95

④池田祐子、海外所蔵の日本の染型紙の調査
研究—チェコとハンガリー、Cross
Sections (京都国立近代美術館研究論集)、
査読無、Vol.3、2010、pp.64-70

⑤池田祐子、海外所蔵の日本の染型紙の調
査研究—ドレスデンを中心に—、Cross
Sections (京都国立近代美術館研究論集)、
査読無、Vol.2、2009、pp.28 - 39

⑥池田祐子、Forgotten treasure for
design sources - Japanese stencil
papers collection in Kunstgewerbe -
museum Dresden、"Another Name
for Design: Words for Creation",
Proceedings for the 6th International

Conference for Design History and Design Studies, OSAKA、査読有、2008、pp.82-85

〔学会発表〕(計14件)

(以下①～⑩は研究代表者・分担者企画による国際シンポジウム「型紙とジャポニスム—各地域における展開」、2009年11月7日〈日本女子大学〉における発表、タイトル表記言語は発表言語と同)

- ① 馬渕明子、Alsatian Industries and Katagami
- ② 池田祐子、Katagami Collection in Germany — Vorbilder as Official Strategy
- ③ 高木陽子、Katagami Collection in the Netherlands and the United Kingdom
- ④ 長崎巖、染型紙の歴史と染色史的意味
- ⑤ 生田ゆき、Development of the Ise Katagami after the Edo period : from the Research of the Collection of Suzuka City
- ⑥ 阿佐美淑子、Katagami Design in Contemporary British Textiles
- ⑦ ジュヌヴィエーヴ・ラカンブル、Some Observations on Katagami in Western Public Collections
- ⑧ ヨハネス・ヴィーニンガー、Josef Hoffmann (1870 - 1956) — Designer and Teacher : The Importance of Katagami for his Work and Teaching
- ⑨ マリヤン・グロート、Katagami and Japonisme in Holland around 1900 : Technique, Iconography and Multi-culturalism
- ⑩ シャンタル・ブション、Analyse de la Collection de Katagami du Musée des Arts Décoratifs de Paris: une Passion pour le Japon
- ⑪ 高木陽子、イギリスの染型紙とジャポニスム、ジャポニスム学会主催国際シンポジウム「知られざる英語圏のジャポニスム」、2009年7月11日、文化女子大学
- ⑫ 高木陽子、染型紙とジャポニスム—技

術、図像パターン伝播の諸相、お茶の水女子大学大11回国際日本学シンポジウム「セッションII 日仏交流の中のテキスト—技術、デザイン、コレクション」、2009年7月5日、お茶の水女子大学

⑬ 池田祐子、Forgotten treasure for design sources — Japanese stencil papers collection in Kunstgewerbemuseum、2008年11月25日、大阪大学中之島センター

⑭ 馬渕明子、型紙とナンシー派、国際シンポジウム「日仏芸術交流の150年」、2008年11月22日、日仏会館

〔図書〕(計3件)

- ① 永井隆則編著／馬渕明子・池田祐子他共著、晃洋書房、『デザインの力』、2010、馬渕明子「KATAGAMI というデザインのカー—ジャポニスムのデザインの例」pp.37-53、池田祐子「〈デザイン〉前夜—第一次大戦後のドイツにおける Kunstgewerbe—」pp.115-132
- ② 馬渕明子、エディション・シナプス、「シシエル、ケクラン、ミジョン、シェノー—日本美術受容に関する四人の功績」『フランス・ジャポニスム文献集成、第一部 ジャポニスム期の美術評論家、美術商、およびコレクターの著作集』別冊付録、2009、pp.3-19
- ③ デザイン史フォーラム編(藤田治彦監修)／池田祐子他共著、思文閣出版、『近代工芸運動とデザイン史』、2008、池田祐子「ドイツの工芸博物館について：その設立と展開—ベルリンを中心に」pp.133-146

6. 研究組織

(1) 研究代表者

馬渕 明子 (MABUCHI AKIKO)
日本女子大学・人間社会学部・教授
研究者番号：30114656

(2) 研究分担者

高木 陽子 (TAKAGI YOKO)
文化女子大学・服装学部・教授
研究者番号：60307999

池田 祐子 (IKEDA YUKO)
独立行政法人国立美術館京都国立近代美術館・学芸課・主任研究員
研究者番号：50270492

(3)連携研究者

長崎 巖 (NAGASAKI IWAO)
共立女子大学・家政学部・教授
研究者番号：20155922

手塚 恵美子 (TEZUKA EMIKO)
日本女子大学・人間社会学部・非常勤講師
研究者番号：10339484